



2024年8月7日

各位

東京都港区港南四丁目1番8号
会社名 アドソル日進株式会社
代表者名 代表取締役会長兼CEO 上田 富三
コード番号 3837 東証プライム市場
問合せ責任者 取締役管理本部長 寺村 知万
(TEL 03-5796-3131)

2025年3月期 第2四半期（中間期）及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年5月9日に公表した2025年3月期 第2四半期（中間期）及び通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2025年3月期 第2四半期（中間期） 連結業績予想数値の修正（2024年4月1日～2024年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,000	百万円 720	百万円 740	百万円 485	円 銭 52.03
今回修正予想(B)	7,500	850	875	565	60.74
増減額(B-A)	500	130	135	80	
増減率(%)	7.1	18.1	18.2	16.5	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期 第2四半期（中間期）)	6,835	709	739	481	51.70

(2) 2025年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 14,500	百万円 1,500	百万円 1,540	百万円 1,010	円 銭 108.34
今回修正予想(B)	15,000	1,630	1,675	1,090	117.19
増減額(B-A)	500	130	135	80	
増減率(%)	3.4	8.7	8.8	7.9	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	14,078	1,437	1,485	979	105.09

2. 修正の理由

(1) 第2四半期（中間期）

第2四半期（中間期）の業績は、好調な事業環境を背景に「2年連続 過去最高売上・最高利益」とした期初予想をさらに上回る見通しとなりました。

売上高は、電力・ガス、安全保障システムなどの社会インフラ関連システムや、決済・カード関連での業務効率化、新サービス創出につながる DX システム対応が堅調に推移したことから、期初予想を 7.1% 上回る「7,500 百万円」を見込んでおります。

利益面では、収益性の高いコンサルティング案件の拡大や、契約条件の改定などにより、売上総利益率が良化しております。この効果が、2年連続となる全社員を対象とした処遇改定、人材育成、生成 AI への取組み、ベトナムでのオフショア開発体制強化、本年 10 月に予定する九州支社の移転・リニューアルに伴う費用の先行支出等の戦略投資の増加影響を上回ったことから、営業利益は、期初予想を 18.1% 上回る「850 百万円」を見込んでおります。

(2) 通期

当社グループの主要顧客であるエネルギー関連企業（電力・ガス）では、生成 AI やデータセンターにおける電力需要の増大などを背景として、DX・デジタル化に向けた ICT 投資の活性化が見込まれております。これに加え、宇宙、安全保障システム、決済・カードなど当社グループが注力する社会インフラの幅広い領域における引き合いが想定以上に増加していることから、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き好調に推移するものと想定しております。

なお、現在、2025 年 3 月期第 3 四半期以降の受注見通し及び戦略投資の精査を行っていることから、2025 年 3 月期の通期連結業績予想については、上期上方修正分に相当する額のみを上乗せしております。

これにより、昨年公表した中期経営計画「New Canvas 2026（2023 年 4 月～2026 年 3 月）」最終年度の業績目標（売上高 150 億円、営業利益 15 億円以上、営業利益率 10%以上）のうち、売上高及び営業利益目標を、1 年前倒しで達成する見通しとなりました（営業利益率は 2024 年 3 月期に 2 年前倒しで達成済）。

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なることがあります。

以 上